

## 令和7年9月定例市議会市政報告

令和7年第5回釧路市議会9月定例会の開会にあたり、6月定例市議会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

最初の報告は、「中央大学・釧路公立大学・釧路市・鶴居村包括連携協定」についてであります。

本年8月13日、両大学の教育及び研究における連携を基礎として、釧路市及び鶴居村を含め相互に連携しながら協力関係を一層強化し、幅広い分野において包括的な連携を推進することにより、地域課題の解決、地域の活性化並びに大学の教育及び研究の充実を図り、地域を始めとした社会全体の持続的かつ公正な発展に寄与することを目的として協定を締結しました。

平成7年度から6年間、釧路公立大学に勤務されていた中央大学 佐藤副学長から、両大学において教育及び研究の協力を行いたいとの申し出が釧路公立大学にあり、その後、中央大学 河合学長らが来釧され、釧路市及び鶴居村にも協力の依頼があったものであります。

今回の協定は、大学の英知と若者の情熱、そして自治体の現場力を結集させる枠組みであり、大変意義深いものと感じております。学生の地域活動への参加や、まちづくりへの提案、文化・スポーツイベントへの協力など、多くの分野で活性化していくことが期待されます。

具体には、中央大学の学生が、釧路市内と鶴居村をフィールドに研鑽を深める取り組みなどを行う予定と伺っております。首都圏から多くの学生さんが、釧路地域に訪れていただくことは大変貴重な機会であり、本協定が実り豊かな成果を生むよう、連携が深まっていくことを期待しているところであります。

報告の第2は、「海外姉妹都市交流」についてであります。

本年は、昭和40年9月9日にカナダのバーナビー市と姉妹都市提携を結んでから60周年を迎えることを記念し、去る7月10日から15日までの日程で、釧路市から公式訪問団10名がバーナビー市を訪問いたしました。

現地では記念式典や歓迎レセプションに参加したほか、60周年を記念して「釧路レーン」と命名していただいた地元の小道の前でテープカットセレモニーが開催されるなど、素晴らしい歓迎を受けたところであります。

また、今年、姉妹都市提携がきっかけで始まった、民間によるアイスホッケー交流も行われました。7月10日から16日までの日程で、姉妹都市であるバーナビー出身の選手、スタッフ、ご家族総勢30名の皆さんが、釧路の中高学生とアイスホッケーの親善試合を行ったほか、釧路市役所への表敬訪問や、学校訪問、ホームステイなどの交流プログラムに参加されました。

こうした取組みによって、今後、より一層、市民交流の輪が広がり、両市との友好関係が次の世代へと引き継がれていくことを期待しているところであります。

報告の第3は、「**亜細亜大学との包括連携協定の締結**」についてであります。

本年8月8日、釧路市と亜細亜大学は、釧路市役所におきまして永綱（ながつな）学長をはじめとする関係者の皆さまにご出席いただき、包括連携協定を締結いたしました。

亜細亜大学硬式野球部による合宿が平成22年に釧路市で初めて実施されて以来、釧路地域の団体などのご支援のもと、これまで相互に協力しながら合宿期間中には「少年野球教室」や、強豪社会人チームやプロ野球3軍などとの交流戦である「タンチョウリーグ」など、様々な事業を16年にわたり継続し、交流してまいりました。

この度の協定締結は、これまでの関係をさらに発展させ、「交流人口拡大および地域振興に関すること」、「両者のPRに関すること」、「人材育成に関すること」など、様々な分野において、相互の連携と協力を行っていくものであります。

今後における具体的な連携事業につきましては、これまでのスポーツ交流に加え、学生のインターンシップ受入れや、シティプロモーションなど、亜細亜大学の専門知識や優秀な人材を活用した事業を展開し、幅広い分野における取り組みを進め、地域活性化に繋げてまいりたいと考えております。

報告の第4は、「**工事発注状況**」についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約152億円となっており、8月31日現在における発注済額は約139億4千万円であり、発注率は、91.7%となっております。

このうち、地元企業への発注は、金額で約129億1千万円、率では、およそ92.6%となっております。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が約80%、上水道事業で約84%、下水道事業で約89%、住宅建設事業は100%の状況となっております。

今後とも地域経済の動向を念頭に置き、工事の早期発注に努めてまいります。

以上で、市政報告を終わります。